

分類	検 査 項 目	検 査 の 説 明																																																
乳 房	マンモグラフィ	乳房専用のX線装置で、片方ずつプラスチックの板に挟んで撮影します。より正確な検査のため、乳房をしっかり圧迫して撮影することが重要です。触診ではわからない病変の発見、特に微細石灰化の描出に優れています。マンモグラフィでは、脂肪組織は黒っぽく、乳腺組織やしこりなどの病変は白く写ってくるため、脂肪組織の多い乳房に適するといわれています。																																																
	超 音 波	乳房に超音波をあて、内部の反射波(エコー)を画像にします。脂肪組織や乳腺組織の厚さ(多さ)に関わらず、乳房内部の情報を映し出すことが可能で、乳腺組織の多い比較的若い世代の乳房に適しているといわれています。触診ではわからない小さなしこりの発見に優れています。																																																
	☆ 乳がん検診では、マンモグラフィなどの画像検査が基本です。乳房の検査には上記のほか、次のようなものがあります。 【CT・MRI】 乳がんの診断や転移の有無、乳がんの拡がりなどがわかる。 【細胞診・組織診】 良性か悪性かを診断する。																																																	
	◆ Brest Awareness (プレスト・アウェアネス) ◆ 「乳がん検診の適切な情報提供に関する研究」参考：https://breastcs.org/																																																	
婦 人 科	プレスト・アウェアネスは「日頃から自分の乳房に関心を持ち意識すること」です。 4つのポイント 1. 自分の乳房の状態を知る [乳房チェック]は着替えや入浴、シャワーなどの際に乳房を「見る」「触る」「感じる」ことで乳房を自覚することです。自己触診という行為や意識は必要ありません。 2. 乳房の変化に気をつける 変化に気づくには、普段の乳房の状態を知ることが大切です。「いつもと変わりがなければ」という気持ちで取り組んでみましょう。 3. 変化に気づいたらすぐに相談する しこりなどの乳房の変化に気づいたら、次の検診を待つことなく医療機関(乳腺外科・乳腺科・外科)を受診しましょう。迷わず、すぐに専門医に相談することが大切です。 4. 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける 40歳になったらマンモグラフィによる乳がん検診を2年に1回受けましょう。乳がん死亡率減少効果が証明されている検査はマンモグラフィのみです。検診結果「要精密検査」の場合は、必ず精密検査を受けましょう。 乳がんについて、もっと詳しく知りたい方は上記QRコードから動画へアクセス！ 乳がんについてわかりやすく解説しています(2026年10月ころまで視聴可能)																																																	
	子宮頸部細胞診	子宮頸部(子宮の入り口)や内膜の細胞を採取し顕微鏡で調べます。細胞の判定は、下表の「子宮頸部細胞診検査判定基準」に基づいて判定しています。																																																
	子宮頸部細胞診検査判定基準	<table><thead><tr><th></th><th>略語</th><th>結 果</th><th>推定される病理診断</th><th>従来のクラス分類</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="6">扁平上皮系</td><td>NILM</td><td>陰性</td><td>非腫瘍性所見</td><td>I、II</td></tr><tr><td>ASC-US</td><td>意義不明な異形扁平上皮細胞</td><td>軽度扁平上皮内病変疑い</td><td>II—IIIa</td></tr><tr><td>ASC-H</td><td>HSILを除外できない異形扁平上皮細胞</td><td>高度扁平上皮内病変疑い</td><td>IIIa、IIIb</td></tr><tr><td>LSIL</td><td>軽度扁平上皮内病変</td><td>HPV感染、軽度異形成</td><td>IIIa</td></tr><tr><td>HSIL</td><td>高度扁平上皮内病変</td><td>中等度異形成、高度異形成</td><td>IIIa、IIIb、IV</td></tr><tr><td>SCC</td><td>扁平上皮癌疑い</td><td>扁平上皮癌疑い</td><td>V</td></tr><tr><td rowspan="3">腺細胞系</td><td>AGC</td><td>異形腺細胞</td><td>腺異型または腺癌疑い</td><td>III</td></tr><tr><td>AIS</td><td>上皮内腺癌疑い</td><td>上皮内腺癌疑い</td><td>IV</td></tr><tr><td>Adenocarcinoma</td><td>腺癌疑い</td><td>腺癌疑い</td><td>V</td></tr><tr><td>その他</td><td>Other malig</td><td>その他の悪性腫瘍疑い</td><td>その他の悪性腫瘍疑い</td><td>V</td></tr></tbody></table>		略語	結 果	推定される病理診断	従来のクラス分類	扁平上皮系	NILM	陰性	非腫瘍性所見	I、II	ASC-US	意義不明な異形扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い	II—IIIa	ASC-H	HSILを除外できない異形扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa、IIIb	LSIL	軽度扁平上皮内病変	HPV感染、軽度異形成	IIIa	HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成、高度異形成	IIIa、IIIb、IV	SCC	扁平上皮癌疑い	扁平上皮癌疑い	V	腺細胞系	AGC	異形腺細胞	腺異型または腺癌疑い	III	AIS	上皮内腺癌疑い	上皮内腺癌疑い	IV	Adenocarcinoma	腺癌疑い	腺癌疑い	V	その他	Other malig	その他の悪性腫瘍疑い	その他の悪性腫瘍疑い	V
		略語	結 果	推定される病理診断	従来のクラス分類																																													
扁平上皮系	NILM	陰性	非腫瘍性所見	I、II																																														
	ASC-US	意義不明な異形扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い	II—IIIa																																														
	ASC-H	HSILを除外できない異形扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa、IIIb																																														
	LSIL	軽度扁平上皮内病変	HPV感染、軽度異形成	IIIa																																														
	HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成、高度異形成	IIIa、IIIb、IV																																														
	SCC	扁平上皮癌疑い	扁平上皮癌疑い	V																																														
腺細胞系	AGC	異形腺細胞	腺異型または腺癌疑い	III																																														
	AIS	上皮内腺癌疑い	上皮内腺癌疑い	IV																																														
	Adenocarcinoma	腺癌疑い	腺癌疑い	V																																														
その他	Other malig	その他の悪性腫瘍疑い	その他の悪性腫瘍疑い	V																																														
HPV検査	高リスクヒトパピローマウィルスの感染についての検査です。基準範囲は(－)です。子宮頸がんは性交渉によって感染するHPVが原因です。HPV検査は採取した細胞から感染を調べます。多くの人は自分の免疫力で細胞を排除できますが、約10%程度が排除できずに感染が持続することがあります。感染した状態が長く続くと細胞が変化し、長い期間をかけて子宮頸がんに行進していきます。早期発見でがんになる前に治療することができます。																																																	
内診	子宮・卵巣・子宮周辺を触診し、腫れやしこりがないか調べます。																																																	
正常な細胞が子宮頸がんになるまで… 感染しても自覚症状はほとんどありません 早期発見のメリット 子宮を残す手術ができるので、将来の妊娠・出産が可能 身体的・経済的負担の少ない治療で済むことが多い																																																		